■配合されている主な成分の副作用、注意点

胃腸鎮痛鎮痙薬

分類	成分	副作用	注意点
抗コリン成分	メチルベナクチジウム臭化物、ブチルスコポラミン臭化物、メチルオクタトロピン臭化物、ジサイクロミン塩酸塩、オキシフェンサイクリミン塩酸塩、ロートエキス	目のかすみ・異常なまぶしさ、顔のほてり、頭痛、眠気、口渇、便秘、排尿困難等	①服用後は、運転・機械の操作を避ける。 ②排尿困難のある人、心臓病の人、緑内障の人は、服用前に医師・薬剤師に相談する。 ③高齢者には慎重に対応する。排尿困難等の基礎疾患をもっていることが多く、口渇等の副作用も現れやすい。
	ブチルスコポラミン臭化物	（上記のほかに）ショック（アナフィラキシー）	—
	ロートエキス	—	（上記のほかに）授乳中の女性は、服用を避けるか授乳を中止する。乳児に頻脈がみられたり、母乳が出にくくなったりすることがある。
パパベリン塩酸塩	パパベリン塩酸塩	抗コリン成分とは異なるが、眼圧を上昇させることがある。	緑内障の人は、服用前に医師・薬剤師に相談する。
局所麻酔成分	アミノ安息香酸エチル	メトヘモグロビン血症	①6歳未満の小児は服用しない。乳幼児では、メトヘモグロビン血症が起こりやすい。 ②長期にわたって、漫然と服用しない。痛みを感じにくくなり、重大な疾患を見逃すおそれがある。
	オキセサゼイン	頭痛、眠気、めまい、脱力感	①妊婦・妊娠していると思われる女性、15歳未満の小児は服用しない。安全性が確立していない。 ②長期にわたって、漫然と服用しない。痛みを感じにくくなり、重大な疾患を見逃すおそれがある。

■配合されている主な成分の副作用、注意点

口腔咽喉薬、含嗽薬

分類	成分	副作用	注意点
殺菌消毒成分	クロルヘキシジングルコン酸塩	ショック（アナフィラキシー）	①この成分でアレルギーを起こしたことがある人は使用しない。 ②口の中に傷やひどいただれのある場合は使用しない。
殺菌消毒成分	ヨウ素系殺菌消毒成分（ポビドンヨード、ヨウ素、ヨウ化カリウム）	ショック（アナフィラキシー）、口腔粘膜の荒れ、しみる、灼熱感、悪心（吐き気）、不快感	①ヨウ素を含む成分でアレルギーを起こしたことがある人は使用しない。 ②口腔内に使用すると、ヨウ素が摂取され、甲状腺疾患の治療に悪影響を及ぼすことがある。 ③妊娠中の女性が長期・大量使用すると、胎児に甲状腺機能障害を生じるおそれがある。 ④ポビドンヨード含有の含嗽薬では、銀を含む歯科材料が変色することがある。

外用痔疾用薬

分類	成分	副作用・注意点
局所麻酔成分	リドカイン、リドカイン塩酸塩、アミノ安息香酸エチル、ジブカイン塩酸塩	坐剤・注入軟膏で、ショック（アナフィラキシー）の副作用を生じることがある。
ステロイド性抗炎症成分	ヒドロコルチゾン酢酸エステル、プレドニゾロン酢酸エステル等	①坐剤・注入軟膏は、長期連用しない（含有量によらない）。 ②患部が化膿している人 皮膚に用いる薬を参照。
アドレナリン作動成分	メチルエフェドリン塩酸塩	①交感神経系の刺激作用によって心臓血管系や肝臓でのエネルギー代謝に影響を生じることがある。 ②心臓病・高血圧・糖尿病・甲状腺機能障害の診断を受けた人。 ③高齢者に使用する場合も、慎重に。